

「平成28年熊本地震」復興支援
障がい者の皆さまの「ものづくり」を応援します

8月2日（火）支援金3,000万円を贈呈

公益財団法人イオンワンパーセント（1%）クラブ（以下、当財団）は8月2日（火）、本年4月に発生した「平成28年熊本地震」によって被害を受けた障がい者就労支援事業所（以下、就労支援事業所）の支援に役立てていただくため、支援金3,000万円を熊本県社会就労センター協議会に贈呈します。

この度の地震により、熊本県内の就労支援事業所において、建物や生産設備の破損などの被害が発生しました。この度の支援金は、同県内の就労支援事業所計51カ所に届けられ、設備の修理・修繕など、障害者の皆さまが「ものづくり」に励む環境の整備に役立てられます。また、障がい者の皆さまにより生産された産品が、より多くのお客さまの手に届くよう、当財団と日頃から協力関係にあるイオングループ各社により、販路の確保・提供の支援も行います。

当財団は、こうした支援を通じ、障がい者の皆さまの自立と社会参画のさらなる促進を願うとともに、被災地の未来へ向けた持続的な発展に貢献してまいります。

記

【贈呈式について】

1. 実施日：2016年8月2日（火）11:00～11:25
2. 場所：熊本県庁
3. 寄附先：熊本県社会就労センター協議会
4. 寄附額：3,000万円
5. 出席者：

熊本県副知事	小野 泰輔 様
熊本県社会就労センター協議会 会長	金澤 一紀 様
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 事務局長	友村 自生
イオン九州株式会社 代表取締役社長	柴田 祐司
マックスバリュ九州株式会社 代表取締役社長	佐々木 勉
イオンモール株式会社 顧問	高橋 富士夫
イオンタウン株式会社 代表取締役社長	大門 淳

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

（公財）イオン1%クラブ 山本（ヤマモト）TEL: 043-212-6023

【ご参考】 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アセアン各国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

【学校建設支援】



ネパール新校舎



ミャンマー新校舎



新校舎に喜ぶ子どもたち

◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ アンバサダー>

海外と日本の高校生の相互交流活動。表敬活動、交流活動、歴史文化理解活動を通じ互いへの理解とグローバルな視野を持つことを支援。

<アジア ユースリーダーズ>

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府へ提案することを通じ、各国の多様な価値観への理解を深めることを支援。

<イオン スカラシップ>

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担う青年たちの夢の実現を支援。

【ティーンエイジ アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



ミャンマーで托鉢体験

◆地域社会の持続的発展に資する事業

<ふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統的な文化・工芸・芸能の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域の人々を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発信伝



イオン すくすくラボ

* 活動の詳細な内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。